

## EIIIRISプロジェクト研究計画書(2020年度)

系・センター名 電気・電子情報工学系

氏 名 石川 靖彦

新規 継続

研究課題	Si集積光デバイスの研究		
研究目的	(EIIIRIS・VBLの研究テーマとの関連, および施設・設備使用目的を明らかに) Siチップ上へ集積可能な微細光デバイスをSi-CMOSプロセス技術を用いて実現することを目的とする。低電力・大容量の光通信システムへの応用を目指す。LSI工場のリソグラフィーや薄膜形成技術、ならびエッチング技術を用いることで研究開発が可能となる。		
研究計画及び方法	(過去の経過, 研究準備状況等) 2017年度よりEIIIRIS・VBLの設備を用いて研究を進めてきた。光導波路や受光器等の微小光デバイスを単体レベルで実現している。		
	(今後の研究計画及び方法, 利用希望設備など, EIIIRIS教員と打合せている場合はその状況) 単体レベルで実現している光デバイスの性能を向上するとともに、集積化を進める。		
EIIIRIS・VBL内で研究プロジェクトを行う理由	上記の研究を実施するためには、EIIIRIS・VBLの実験設備の利用が不可欠であるため。		
研究組織	研究者氏名	所属・職名	役割分担
	(研究代表者名の後ろに◎を付す) 石川靖彦◎ Moise Sotto	電気・電子情報工学系・教授 電気・電子情報工学系・助手	研究の総括、デバイス作製 デバイス作製
研究期間:	2020年 4月 ~ 2023年 3月(原則として3年間)		
(研究期間の始期は、研究を開始した年を記入する。終期は原則として、開始した年から3年後を記入する。)			